

著者略歴

中村祐司(なかむらゆうじ)
1961 年生まれ
1993 年 宇都宮大学赴任
2003 年 博士(政治学)
専攻は行政学・地方自治
単著に『スポーツの行政学』(成文堂、2006 年)

ISBN978-4-88286-333-5

C0231 ¥1000E

下野新聞社

定価：本体1000円+税

- 第1章 “とちぎ”の魅力、地域の魅力とは
- 第2章 地域社会の課題とその解決策とは
- 第3章 大学教員の日常から見えてきたこと
- 第4章 「地域」社会から「地球」社会へ
- 第5章 地域社会を生きる知恵とは

平成 19 年 6 月 1 日 初版発行
発行所：下野新聞社 〒320-8686
栃木県宇都宮市昭和 1-8-11
電話 028-625-1135 < 出版部 >
<http://www.shimotsuke.co.jp>



shimotsuke shinbun shimbun

「デジタル機器の発達と相まって、画像や動画など視覚に訴えるグラフィカルな部分が世の中に氾濫(はんらん)する傾向が強まっている。しかし、筋道の立った考察の提示、評価や分析の深み、さらには冷静な議論のもととなる素材の提供など、活字の魅力が失われてはいけない。」

著者

世界規模でのグローバルゼーションは地域の労働や消費に直接影響を及ぼすようになった。国の行財政改革は地方を揺るがし、平成の大合併によって市町村数は大幅に減少した。県内でも足利破綻(はたん)後の受け皿銀行のあり方、中心市街地の空洞化対策や新交通システムの方向性、団塊の世代による新たな生きがいの模索、若者の雇用の確保、子どもたちに対する安全や健全な教育の提供など、持たないの課題が山積している。本書は“とちぎ発”の視点から問題を丁寧に読み解き、真摯(しんし)に解決策を追求した斬新で実践的な提言集である。

本書は二〇〇三(平成十五年)八月五日から二〇〇六(平成十八)年五月二十六日まで、足かけ二年十ヵ月近く百回にわたって朝日新聞栃木版の「大学の窓から」と題したコラム欄に、ほぼ毎週一回のペースで掲載されたものがもたになっている。

新聞紙面のスペースの都合上、掲載の間隔が二〜三週間となることもままあったので、だいたい十日間に一本の執筆ペースだったことになる。当初はエッセー風の柔らかい文章を作成しようとして試みたものの、回数を重ねるにつれて栃木県内外において地域社会が直面しているタイムリーな政策課題を取り上げ、見解を

2

下野新聞新書

”とちぎ発” 地域社会を見るポイント100

宇都宮大学 国際学部教授 中村 祐司

この一冊で社会を見抜く力が身に付く!

「知名度ワースト1」といわれる栃木県。しかし、自然と産業のバランス、住みやすさ、人情味あふれる県民性など、「全国トップクラス」の隠れた魅力が詰まっているのが“とちぎ”である。地域社会を読み解くカギが満載された簡潔かつ渾身のメッセージ集!